

2021 年度入試 **注目!** 中学受験の概況と今後



2021 年の首都圏中学入試を振り返り、コロナ禍における経済状況の悪化が懸念された受験動向と保護者の心構えについて、注目すべき記事を紹介したい。

「ダイヤモンド・オンライン」によると、今年の入試のキーワードは「実倍率」「所在地」「中堅校」の3点だったという。大手四模試の志望動向をもとに安全志向、日本大学の正付属・準付属校の人気、(都県境である)川を越えない傾向が見られ、入試日直前まで動きがあった。東京・神奈川の受験生が千葉を敬遠した結果、市川・渋谷幕張・東邦大東邦の1回目が全て減少している。また各都県の最難関校が避けられた。事前予想が軒並み出願者1割減だった東京男子御三家は、開成2%減、武蔵3%減にとどめたが、麻布は13%減と大きく減らし、実倍率3.0倍以下となった。その分受験生の出願が次点のランクへシフトする傾向も顕著に見られた。それだけ受験生も保護者もギリギリの段階まで悩み抜いた結果であろう。

一方で、受験者層の多い東京湾岸部からアクセスの良い学校であるかえつ有明や芝浦工大附は好調、中堅校と呼ばれる四谷大塚の80%合不合偏差値で40台の学校のうち、親世代のブランド校である山脇・跡見(非ミッション系女子伝統校)の復調が目立った。日大系の付属校の人気は、系列大学の進学を担保した上で、国公立大の受験も可能な特有の進学システムによるという。

では増加の一途を辿る首都圏の中学受験の背景には何があるのか。

「現代ビジネス」によれば、主な背景には「大学入試改革」や「大学入試定員厳格化による首

都圏私立大学の難化」に対する不安、教育意識の高い都心部の児童数の増加傾向を挙げている。今から約30年前(現在40代前半の親たち)、揺れ動く公教育への不信から起こった中学受験ブームも、当時小学生だった保護者世代に受験を勧めたのが今の祖父母たちであり、孫の中学受験を理解しその教育費に惜しみない援助の手を差し伸べているという。

また中学受験は「成功例」ばかりが流布されやすい特異な性質を持つ世界で、第一志望校の合格が得られるのは「3人に1人」もいないのではないかという。親自身の経験に基づいて、勉強面や進路のアドバイスをする際には、私立中の序列が当時とはかなり様相が違い、親のイメージが通用しない事を念頭に置くべきだ。聞いたこともない学校が今では人気を博すほどの変化や、かつての名門校が受験生集めに苦勞しているケースも存在する中で、親世代の「受験常識」をわが子の中学受験にそのまま適用するのは注意が必要だ。

最後に、複数の志望校に全敗、または滑り止め校に合格したが気乗りせず地元の公立中へ進学し高校受験でリベンジ、といった事例もかなり多いのは塾関係者であれば周知の事実だ。

《出典》ダイヤモンド社教育情報・森上教育研究所 2021/02/09 ダイヤモンド・オンライン 首都圏「中学受験」異例尽くしの2021年を総括

《出典》矢野 耕平 2021/02/12 現代ビジネス(講談社)【麻布、武蔵、巣鴨、海城……】偏差値序列が激変! 保護者世代の常識が通用しない中学受験



話題作 人気沸騰中!

「二月の勝者」—絶対合格の教室—

男性向けの漫画雑誌である週刊『ビッグコミックスピリッツ』で連載されている、中学受験の実態をリアルに描いた高瀬志帆さんの話題作をご存知でしょうか。コミック版も出版されたことで、特に小学生の子供を持つママの間で人気に火が付き広がりました。昨年2020年7月に日本テレビ系でドラマ化も予定されていましたが、残念ながら、新型コロナウイルスの影響により放映が現在も延期中です。

「二月の勝者」は、いまやママの勧めでパパの受験指南書になるほど、中学受験の知られざる実態について、漫画でわかりやすく紹介しています。受験に関する実際のデータや塾代をはじめとした気になるお金の話、受験塾や教育業界の裏話、受験生を持つ家庭の事情が赤裸々に描かれています。これから受験を始めようとする方にとっては興味津々の話題になるでしょうし、受験経験がある方は当時を振り返って共感するエピソードが満載だと思います。

2021 年度入試

都立高校受験の概況

2017 年より都内では公立中学 3 年生が減少している。その中で 2018 年から 4 年連続で、都立高校の商業・工業などの専門学科と偏差値 50 以下の普通科の志望者の減少が顕著になった。その背景には、私立高とりわけ大学付属の高校への志向（大学定員の厳格化・合格者数の抑制による最低ラインの上昇・共通テスト回避）があるようだ。この点においては、中学受験の増加要因にも当てはまる。

さらに状況を掘り下げて言えば、従来、専門学科を志望していた女子の受験生が普通科を志望するようになり、中堅・上位ランクの普通科を志望する受験生の一部が、私立高校へ流れている事実がある。数年間で、都立第一志望が 71% から徐々に 64% まで低下している。東京都版の私立高校の授業料の軽減の拡張策（年収 760 万円相当以下→910 万円相当以下は実質無償化）の影響は計り知れない。またコロナ禍もあり、いち早く高校合格を決めたい心理と結び付いた結果、私立高校の入試相談制度を活用し、単願推薦の話をまとめたケースも多い。

新たな現象として、通信制高校の評価の高まりにも注目したい。従来型のスクーリング主体ではなく、スマホ世代に対応した Web を活用した多様な授業形態が増加した。コロナ禍も相まって生徒・保護者のニーズとも合致するようになった。都立偏差値 40 以下の高校や定時制の志望者減少や定員割れも、この要因が推測できる。

修明学園では、今年度より塾コースを見直し「逆転受験合格」をコンセプトにした新コースを



導入した。地域密着型で 50 年以上の指導実績の中で、塾が担う役割も時代に応じて変化する必要がある。「自立型個別指導」の確立をし、個別最適化したサービスを通して、勉強が苦手なお子さんの「逆転受験合格」を目指す。

経験豊富な学習コーディネーターが作成した「受験合格戦略プラン」に基づき、自分から勉強する習慣・姿勢を身に付け、進んで学習することを可能にする自立学習とそれぞれの学習進度に応じた授業・学習フォローを行う個別指導を組み合わせ、その長所を集約した次世代の指導スタイルである。塾生には新コースをぜひ活用をしてもらいたいと思う。

“非認知能力”とは何か

人間の能力は「認知能力 (Cognitive Skills)」と「非認知能力 (Non-cognitive Skills)」に分けられます。

例えば「算数のテストが 80 点だった」「50メートル走が 10 秒だった」など、数値化しやすいのが「認知能力」であり、「コミュニケーション能力」や「粘り強さ」といった目に見えにくく、数値化しにくいものが「非認知能力」と言えます。

具体的な非認知能力として、忍耐力・コミュニケーション力・信頼性・自尊心・自己肯定感・逆境への耐性・共感力・謙虚さ、が挙げられます。他にも、リーダーシップや達成力、社会性や課題解決力など、数多くの能力が「非認知能力」に分類できますが、キーワードになるのは「生きる力」ではないでしょうか。



「浅草橋教室」 台東区柳橋 1-26-3 TEL 03-3862-9218

JR 総武線・都営浅草線 浅草橋駅東口 徒歩 2 分

「高砂教室」 葛飾区高砂 2-36-5 TEL 03-3650-7214

京成本線 京成高砂駅南口 徒歩 1 分

「勝どき教室」 中央区勝どき 3-4-15 4F TEL 03-3520-9701

都営大江戸線 勝どき駅 A4a 出口 徒歩 2 分

無料
体験

生徒
募集中



♪編集後記♪

(担当：柴田 圭)



修明がんばりす君

このたび約 1 年ぶりに『塾報しゅうめい』の発行が復活し、全面カラー版で紙面を刷新することになりました。今後は年 4 回（4 月・7 月・11 月・1 月の予定）の季刊号として、皆様にお届けします。

昨年度はコロナ禍による緊急事態宣言を経験し、塾はこれまでの対面型授業とオンライン指導・オンライン自習室を併用する新たな試みを導入しました。今年は塾の本部機能の強化を図り、中学受験・高校受験の逆転合格を目標に、「学習コーディネーターによる学習ケアとオンライン自立学習」を組み合わせた個別指導、映像授業と AI による個別最適化した問題演習が可能になる「G-PAPILS」の 2 種類のサービス提供を始めました。

これからの『塾報しゅうめい』は、中学受験・高校受験に限らず、広く教育一般・子育てに関する興味深い記事を紹介し、必要な情報提供をしていきます。

ロボット教室・ことばの学校にお通いの生徒さんも、塾サービスの積極的な活用をお願いします。

5 月 6 日より学園 HP リニューアル



台東区、葛飾区、中央区の個別指導塾

修明学園

